

ば せん きょう  
馬 仙 峡

愛憎渦巻く日本一の夫婦岩

岩手のでっぺん

ふしぎ発見 1 2

二戸エリアなぜなに探検隊が行く!

台本版



左が男神岩、右が女神岩

なぜ男神岩・女神岩はあんな形をしているんだろう?

二戸市に入るとまず出迎えてくれるのが、男神岩と女神岩の荒々しい夫婦岩です。

昭和37年(1962年)には、この一帯が折爪馬仙峡県立自然公園の一部に指定され、四季折々の美しい自然美で人々を魅了しています。一体この景観はどのようにして造られたのでしょうか。

地質などを分析した結果、男神岩・女神岩は、もともと海中にあった海底火山の火口の跡ではではないかといわれています。それが350万年ほど前に隆起して陸地になりました。その後、馬淵川の流りに柔らかい地層の部分が削られて、硬い安山岩の部分だけが残って現在のよう形になったものと考えられています。

かつてこの周辺一帯が海底にあった証拠として、馬淵川の川岸の崖などから、必ずといっていいほど海底に住む貝の化石が発見されます。二戸市は「化石の宝庫」として全国でも有名な場所です。

男神岩は水面からの高さが180m、女神岩は160mとなっており、夫婦岩としては国内最大級といわれています。

この男神・女神岩、すごいのは遠くから見た景色だけではないようです。その秘密を探るべく、男神岩の頂上付近に完成した展望台に行ってみましょう。



すごい迫力ですね! ずいぶん遠くまで見わたせます。向こうに見える山が鳥越山です。そして下を見ると...思わず足がすくんでしまいます。

なぜ「馬仙峡」というんだろう?

では、なぜこの一帯を「馬仙峡」というのでしょうか? ここで、岩手県初の民選知事である二戸市出身の国分謙吉氏が登場します。昭和25年頃、山梨県にある昇仙峡に風景が似ていることから、国分氏がその地名に馬淵川の「馬」を冠して命名したといわれています。

それ以前は「左右山」といわれていたそうです。後述する「大崩崖」もそうですが、非常にストレートな

ネーミングです。ちなみに「男神」「女神」の名称が広まったのは大正期といわれています。

男神岩・女神岩の悲恋物語は、なぜ生まれたんだろう?

男神岩・女神岩には、次のような愛憎渦巻く伝説が残されています。

男神岩と女神岩は幼い頃からの許嫁でしたが、ある時、男神岩は浮気をしました。浮気の相手は、対岸にある鳥越山。怒り狂った女神岩は大蛇に変身し、鳥越山を絞め殺そうとしましたがかなわず、悲しみの余り馬淵川の大淵に身を投げました。里人たちはこれを哀れみ、明神ヶ淵と呼ばれる付近に祠を建てて大淵大明神として祀り、今でも雨乞いの神様として信仰しているそうです。

身投げしたのになぜ今も女神岩があるの?と突っ込みを入れたくなるのですが、そこは伝説ということで...



女神岩の身投げ現場 明神ヶ淵

なお、男神岩、女神岩は鳥越山とともに、平成18年、岩手県北地域としては唯一となる国の名勝に指定されました。いわば「三角関係」の名勝。文部科学省もなかなか粋なことをするもんですね。



大淵大明神

男神岩、女神岩が逆だったというのは本当だろうか?

二戸市作成の「二戸市物語」によれば、この夫婦岩、明治の頃までは、現在とは逆に右側が男神岩、左側が女神岩だったそうです。

その説の出所を調べてみたところ、大正10年(1921年)に、岩手県教育会二戸支部が作成した「二戸小史」という冊子でした。そこには左側が女神岩、右側

が男神岩と書かれています。

ところが天保3年(1832年)に佐々木濫田という人が描いた写生画では、左を男神山、右を女神山としています。

現在と逆に左を女神、右を男神と書いているものは「二戸小史」以外にありません。(二戸市史編さん室 奥昭夫氏の教示による) 右か左か?どちらが本当なのでしょう?

なぜ大崩崖はあのような姿になったんだろう?

県立自然公園の一部となっている、その名もズバリの大崩崖。こちらはなぜあのような形になったのでしょうか?

大崩崖もやはり、海底火山が隆起したものとわれています。男神・女神岩が河川の浸食で硬い安山岩部分だけ残ったのに対し、大崩崖は削られた崖そのものと考えられています。

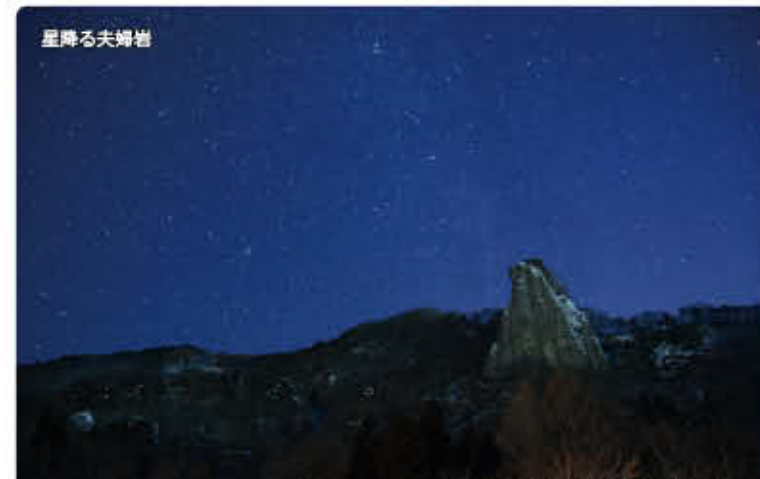
その名のおり何度も崩れて今の姿になっています。最近では平成20年8月29日の午前11時過ぎに、大音響とともに南半分が崩れ落ちてしまいました。長雨で地盤が緩んだことが原因といわれています。

今でも大崩崖の下にある馬淵川の川原では、崖が崩れた岩の中から貝類の化石を見つけることができるそうですよ。

四季折々の美しい姿を、モヤのかかった日にはちょっと不気味な姿を見せる馬仙峡。みなさんも、一期一会のその姿を堪能してみたいかがでしょうか?



星降る夫婦岩



【参考文献】  
二戸市「二戸市物語」  
二戸市「親子で探る二戸の自然」  
[写真協力] エフエムいわてふるさと元氣隊 二戸支部 吉田昭子氏



おり つめ だけ  
折爪岳

360度のパノラマと北東北最大級のヒメボタル



なぜ折爪岳からの眺めは  
絶景なんだろう?

二戸市と軽米町、九戸村にまたがる標高852mの折爪岳。二戸地域では稲庭岳、西岳に次いで3番目に高い山です。北上山地の北端に位置する台形に近いなだらかな形の山で、折爪馬仙峡県立自然公園の一部にもなっており、二戸地域のシンボルともいえる山です。

折爪活断層の活動によって形成されたと考えられており、東側から見上げると険しい形をしています。



展望台から八戸方面を望む

山頂付近の展望台からは360度のパノラマが楽しめます。ちょっと霞んでいますがかなり遠くまで見えます。

なぜ、このように見事な絶景が楽しめる

のでしょうか?

この折爪岳、それほど高い山ではありませんが、太平洋岸と内陸部とを分ける屏風のような山で、周りに高い山がないので、晴れた日には八甲田連峰、稲庭岳、岩手山、八戸の夜景など太平洋側と内陸部との両方を見わたすことができます。条件さえよければ、太平洋の漁船の漁火まで見ることができるそうです。

山頂付近のアンテナの数も気になりますね。ここには、NHK、民放テレビ局のほか、FMラジオの中継局が設置されています。周りに高い山がないので、ここからの電波は岩手県だけでなく、青森県の八戸市や三沢市、さらに約100km離れたむつ市でも受信できるそうです。そのため八戸市などの青森県の新聞には、岩手県の番組が掲載されているそうです。

なぜ「折爪」というのだろう?

ところで、折爪岳という名前、ずいぶん変わった名前ですね。なぜそんな名前なのでしょう。

江戸時代中期に書かれた南部藩の地誌「邦内郷村志」には、安倍氏一族の安倍高任が、当時白鳥城(後の九戸城)にいて、前九年の役の後、この地に押し込められて捕縛されたため「押詰」となったとあります。

また、山越えをしようとした武士が、のどの渇きから水を掘り出そうとして、素手で爪が折れるほど掘ったことから「折爪」となったなど様々な説があります。

ちなみに「岩手の山名ものがたり」では「ツメ」を「物の端」の意とし「山地の端の降りつめた所」が語源ではないかとしています。

【参考文献】  
二戸市「親子で探る二戸の歴史」  
奥 昭夫「二戸市の自然」  
深沢 紅子・佐々木望「岩手の民話」  
小島 俊一「岩手の山名ものがたり」

ヒメボタルとは  
どんな生き物なんだろう?

折爪岳のすごいところは昼間の眺望だけではありません。

実は折爪岳は“北東北最大級”と言われるヒメボタルの生息地になっているんですよ。

「100万匹の群舞」と言われていますが、平成26年度の調査ではそれ以上の生息が推測されています。“日本一”の可能性も…。

ところで、ヒメボタルとはどんな生き物なのでしょう?

ヒメボタルは、北海道を除く全国各地に生息しているホタルです。メスよりオスが大きく、メスは2~3秒間に1回、オスは1秒間に1回の割合で規則正しく発光します。オスとメスが交互に発光することから、短い間隔でフラッシュをたいてるように発光します。例年7月上旬から中旬にかけてがヒメボタルの見ごろとなっており、二戸駅などからシャトルバスも運行されています。

なぜヒメボタルの  
一大生息地なんだろう?

なぜ折爪岳がヒメボタルの一大生息地なのでしょう。

ヒメボタルの幼虫は、ほかのホタルと違い陸に住んでいて、カタツムリの仲間の巻貝をエサにしています。

折爪岳の山頂付近は、太平洋側からのヤマセの影響で霧が多く湿潤な環境となっています。そのため、幼虫のエサとなる陸生貝類が豊富であることからヒメボタルの一大生息地になっていると考えられています。

ヒメボタルの大群舞



ただ、ヒメボタルの生態についてはまだまだ不明な点が多く、現在調査が進められています。

「オドデ様」とは  
どんな生き物なんだろう?

折爪岳には「オドデ様」という怪鳥伝説が残っています。一体どんな生き物なのでしょう?

このオドデ様、上半身がフクロウ、下半身が人間という極めてシュールな生き物です。一説では、下半身だけが180度逆になっているフクロウともいわれています。いずれにせよ闇夜で出会ったらちょっと怖いかも…。

ギリシャ神話にケンタウロスという半人半馬の怪物が登場しますが、日本の昔話で半獣半人というのは珍しいように感じます。天界と地上界の仲介者という意味合いでもあるのでしょうか?

このオドデ様、どんな不思議なことをしたのでしょうか?

伝説によると、名主の神棚に立ち、明日の天気からなくし物、縁談、病気まで村人からの相談を占い、ピタリと当てていました。ある日、自分の目の前にお金の詰まった賽銭箱があることに気付き、「ドデン、ドデン」と叫びながら森の中に飛んで行ってしまったそうです。



折爪五滝にある「オドデ様」の石像

四季折々の自然が楽しめる折爪岳。山頂まで手軽に車で行くことができます。みなさんもぜひ一度登ってみてはいかがでしょうか。運が良ければ「オドデ様」にも会えるかもしれませんよ。



# いなにわだけ 稲庭岳

がんしょうぼう  
二戸地域の最高峰と岩誦坊の謎の和尚

岩手のてっぺん

ふしぎ発見 1 2

二戸エリアなぜなに探検隊が行く!

合本版



稲庭岳の裾野で草を食む短角牛

## 二戸地域の最高峰はどの山だろう?

いきなり問題です。二戸地域の最高峰の山はどの山でしょうか?

正解は稲庭岳です。二戸市浄法寺町の北西部に位置し、八幡平市と青森県田子町にまたがってそびえています。深底の皿をひっくり返したような形の山で、一見あまり高そうに見えませんが、実は1,078mもある旧火山です。ちなみに二戸市、九戸村、軽米町にまたがる折爪岳(852m)は、稲庭岳、西岳に次いで第3位です。

## なぜ「稲庭」というんだろう?

ところで、「稲庭」という名前はどこからきたのでしょうか?

刈り取った稲を積み上げた「稲堆」の形に似ていることから来ているという説、神様の稲干し場という説など様々な説があります。

この稲庭岳、地域の人たちの信仰の対象となっています。稲庭岳山頂付近には稲荷神社があり、山頂から1kmほど下ったところには駒形神社があります。浄法寺地区は二戸地域でも有数の馬産地だったこともあり、ここには馬頭観音が祭られています。

昔は簡単に上れる山ではなかったため、地域の人々は各地区に建てた鳥居の前で稲庭岳に向かって拝んだそうです。

## 山頂からは何が見えるんだろう?

1,000m級の山でありながら、この稲庭岳、意外と簡単に頂上までいけます。キャンプ場のある登山口から頂上までの所用時間は約45分です。

山頂の展望台からの眺めは正に絶景!折爪岳、西岳、岩手山、八幡平等の岩手県内の山々はもちろん、八戸の海も見わたすことができます。



稲庭岳山頂からの眺望

稲庭岳は四季の移り変わりを体感できる山でもあります。春のタラノメ、ヒメタケノコ、ワラビ、コシアブラなどの山菜、夏のキアゲハチョウやコエゾゼミなどの昆虫、そして満天の星空、秋はモミヤブナ、ナナカマドなどの紅葉、そして豊富なキノコ類、冬は霧氷が美しく、一旦溶けた雪が凍りついた“かた雪”の上を“かんじき”を履いてトレッキングできるほか、野ウサギを見かけることも。四季を通じて楽しめる宝の山です。

ここでは、ヘルシーな赤身が特徴の短角牛も飼育されており、イベントの際には、短角牛を炭火で焼いた「岩誦坊焼き」なる料理も登場します。



名物「岩誦坊焼き」

また、年間を通じて風が強い気候を利用して、平成13年(2001年)に岩手県企業局により3基の風力発電施設(風車)が整備され、稲庭岳のシンボルとなっています。さらに今後、民間企業による新たな風力発電施設の建設も計画されています。

## 「岩誦坊」って何だろう?

ところで「岩誦坊」って何なのでしょう?

岩誦坊クラブが建てた案内板などによると、200年ほど前、この地に一人のお坊さんが住んでいたそうです。そのお坊さん、実は金山を掘る山師のなれの果てで、夢を捨てきれずこの地に小屋を建て山を掘っていたそうです。ようやく金鉱らしきものに掘り当



岩誦坊の湧水



たりましたが、多量の湧水が出て、それ以上掘り進むことができなくなりました。やむなく坑道に石垣を積み重ねて人目から隠し、いずともなく行方が知れなくなったそうです。

もっともこの伝説、「岩誦坊は、そんな欲張り坊主が見つけた泉じゃない」と主張する地域の方もいます。

この岩誦坊の湧水。年間を通じて水温が5~7℃と冷たく、カリウム、マグネシウムなどのミネラル分が豊富に含まれており「延命の水」と呼ばれています。この地区では昔から岩誦坊の水を飲むと病気が良くなるといわれており、家族に病人が出ると岩誦坊に水を汲みに行っていたそうです。地域の人にとって岩誦坊は霊泉であり特別な水だったんですね。

四季折々の大自然の恵みが感じられる稲庭岳。ぜひお出でになって、大自然を満喫してください。



稲庭岳から見た七時雨山と天の川

【参考文献】  
二戸市「広報にのへ 平成21年8月1日号 特集 稲庭岳」 同 平成27年8月15日号 特集 さし山へ行く  
二戸市「稲庭岳で遊ぶ 稲庭岳エリア観光マップ」





奥中山高原のレタス畑

### なぜここが一大農産地になったんだろう?

一戸町と岩手町の境に位置する奥中山高原は、二戸地域第2の高峰、標高1,018mの西岳とその東側山麓一帯の通称です。

現在、岩手県の夏秋期のレタス生産量は全国第4位ですが、うち一戸町のレタス生産量は県全体の何と7割!また、奥中山ブランドの牛乳やヨーグルト、アイスクリームも有名です。

なぜ、ここが一大農産地になったのでしょうか?

今でこそ、このような美しい風景が広がっていますが、かつてここは軍馬の育成場でした。

明治24年(1891年)「三本木軍馬育成所支部中山派出所」が設置され、何度か名称の変更はありましたが、最盛期には春と秋に約千頭の馬が貨車で送り出されたそうです。

昭和20年(1945年)の終戦とともに軍馬の育成場も廃止。同年9月、約8,000haにも及ぶ広大な牧草地などが開拓用地として解放されることとなり、旧軍人、引揚者、地元農家の二男、三男などが入植し、幾多の苦難を乗り越えて開拓に励んだ結果、現在の姿になっています。

### 開拓の実態はどうだったんだろう?

みなさんは「開拓」という言葉にどんなイメージ

を持ちますか?人跡未踏の原野を切り拓き新天地を築く。貧しいながらも心豊かな生活...そんな『北の国から』のような牧歌的なイメージかも知れません。いえいえ、現実はそのような生やさしいものではありませんでした。

実際にはどんな生活だったのでしょうか?

ここへの入植者は約600戸と開拓団としては県内最大規模。指導に当たったのは和賀町(現北上市)出身の八重樫治郎蔵氏でした。

入植者には一人約5haの土地が配分されましたが、耕地として適しているところは少なく、高冷地で土壌も悪いという悪条件が加わりました。

冬は零下18度にも達する厳寒の中、わずか6坪の掘立小屋で過ごすという生活でした。食べ物も乏しく、栄養失調から結核で倒れるものも多く、乳児死亡率は実に90%にも上ったそうです。



西岳と冬の奥中山高原

そんな厳しい生活でしたが、こんなエピソードも。昭和22年(1947年)8月、昭和天皇が奥中山高原にも立ち寄られた際、二戸市出身の“農民知事”国分謙吉氏が方言丸出しで開拓の状況を説明したそうです。

天皇の耳に口をつけばかりの説明に、ツバでも飛んだら...と随行者はハラハラドキドキだったそうです。

昭和天皇、後にその時の感想を「岩手の本当の姿、本当の言葉を知らせてもらってうれしく思います。」と述べられたそうです。

### どうやってレタス生産地になったんだろう?



桜やアズマギクが咲き乱れる高森高原

そんな悪戦苦闘の中、どのようにしてレタスの一大生産地になったのでしょうか?

様々な失敗を繰り返す中、奥中山の立地条件に合った農業として、酷農、高冷地野菜、畜産による農業経営を目指すことになり、昭和38年(1963年)から高冷地野菜としてレタス栽培の取組を始めました。

レタスといえば、あの新鮮なバリバリ感が命ですよね。ここ奥中山高原では昭和53年(1978年)、全国でも珍しかった「野菜真空予冷施設」を県内で初めて導入しました。そのため、野菜を短時間で冷却することで鮮度を保つことができるようになり、計画出荷、遠距離輸送が可能になったことから、作付け面積が飛躍的に増大しました。

### なぜ高森高原の星空は日本一なんだろう?

奥中山高原スキー場の北側にある高森高原。広大な牧草地には5月末~6月中旬に薄紫色のアズマギクが咲き乱れます。この標高762mの場所に、平成元年5月にオープンした観光天文台があります。

実はこの観光天文台、平成25年度の全国の天文愛好家による「全国星空継続観察調査」で、何と全国79地点の中で「星の見やすさ日本一」に輝きました!まさに手を伸ばすと届かんばかりの星空です。

なぜここが日本一になったのでしょうか?

標高が高い場所にあり空気が澄んでいること、まわりに何も自然のまっただなかにあり、街灯などの影響をほとんど受けにくいことなどが理由として考えられます。

天文台の吉田台長は「晴れた日の迫力はすごく、人生が変わるほど」と話しています。

現在、奥中山高原は一戸町の観光の拠点にもなっており、奥中山高原スキー場やいわて子どもの森などの各種施設が整備されています。スキー場のすぐ近くにあるセンターハウスには温泉があるほか、宿泊も可能です。

ぜひみなさんも様々な魅力溢れる奥中山高原で自然を満喫してみたいはいかがでしょうか。



【参考文献】  
工藤純一「奥中山開拓 幾多の苦難を乗り越えて」(『久慈・二戸・九戸の歴史』所収)  
上田敏雄「奥中山高原のレタス栽培 開拓の困難を克服して」(同上 所収)  
堀忠雄・鈴木文男「山の上の神々 岩手の戦後開拓物語」  
「星の見やすさ日本一」(岩手日報 平成26年4月11日)



# ゆきやがわ 雪谷川ダムフォリストパーク

とうげんきょう 15万本のチューリップの桃源郷



15万本のチューリップが咲き乱れるフォリストパーク

## 「フォリストパーク」って何なんだろう？

「岩手のでっぺん」二戸エリアの中で最も北に位置する軽米町。そこでよく目にするのが、風車が描かれた「軽米フォリストパーク」の案内板。これは一体何なのでしょう？

フォリストパーク、正式には「雪谷川ダムフォリストパーク」は、雪谷川ダム周辺の優れた自然景観を利用し、「フォリスト(Forest)」＝「森林」の名のとおり、自然に親しみながら森林・林業に関する知識を深めることを目的に平成2年5月に完成した公園です。

面積は約20ha。実に東京ドーム4個分の広さです。敷地内には、キャンプ場、イベントステージ、レストラン、炭焼き体験施設などが整備されていますが、やはり一番の目玉は高さ16m、直径20mの風車展望台とその下に広がるチューリップ園です。その数、何と40種類15万本！ 毎年5月上旬から中旬にかけてが見ごろとなります。「雑穀の桃源郷」づくりを進めている軽米町ですが、実は「チューリップの桃源郷」でもあるんです！



## なぜチューリップと風車なんだろう？

チューリップの美しさによる恍惚感から覚めたとき、ふと胸によぎる疑問。「なぜ軽米町にチューリップ

と風車なんだろう？」。

雪谷川フォリストパークを紹介する観光パンフレットはたくさんありますが、そのことについて触れたものが見当たりません…。

今回、当時の軽米町の担当者からお聴きしたところ、森林公園内に展望台を設置するに当たり、農林水産省から派遣されていた職員から、「普通の展望台ではインパクトが弱い」とのアドバイスがあり、公園の目玉として風車型の展望台を作ることにしたそうです。ただ、風車の形は、本場オランダに多い円錐・円柱型の「かんがい用風車」ではなく、「フォリストパーク」というコンセプトを踏まえて「製材用風車」の形にしたそうです。確かによく見ると1階に製材用の横長の建物が設置されています。そして、風車があるからには当然チューリップ畑、ということで風車展望台の周囲にチューリップ園を整備したそうです。驚くべきことに、このチューリップ、品質の低下を防ぐため、毎年新しい球根を購入しているそうです！ 関係者の並々ならぬ苦労があって、この景観が作り出されているんですね。

なお、一周約4kmの公園内のウォーキングコースは、平成27年10月に、日本ウォーキング協会などによる「新日本歩く道紀行100選」に選定されました。



## 「軽米」の米は本当に軽いのか？

ところで「軽米町」という町名、とても気になります。冷涼な気候のため稲穂が軽かったためでしょうか？

確かにこの地は稲作には不向きな気候で雑穀の産地として知られていますが、そう単純な話ではないようです。一説では奈良時代この地にいた豪族「宇漢迷」が転じて「カルマイ」になったと言われています。また、アイヌ語の「カルオマイ」（物の豊かな所）が語源という説もあります。

その軽米町の中心部を蛇行しながら流れるのが雪谷川。農作物の育成に恵みをもたらす一方で、たびたび氾濫を起し多大な被害をもたらしました。最近では、平成11年10月の集中豪雨による氾濫で、家屋、農地などに多大な被害を及ぼしています。

その修復事業の過程で、雪谷川沿いで思わぬ“宝”を再発見しました。それが、20棟ほど残されていた赤レンガの建物です。

## なぜ、赤レンガの建物が多いんだろう？



ましかど煉瓦館 (旧大黒醤油工場)

なぜ、このような地方の町に、こんなに赤レンガの建物が多いのでしょうか？

その歴史は、終戦直後に遡ります。昭和20年代、進駐軍(米軍)が三沢基地に住宅を建てることになり、その需要に対応するため、軽米町に地元の土を使った赤レンガ工場が建てられました。そのレンガを使って町内にも学校、工場など様々な建物が造られました。

赤レンガの建物は全国各地にもありますが、そのほとんどが明治時代から大正時代にかけて建てられた

【参考文献】  
軽米町「軽米町町合併50周年記念誌」  
軽米らしさ探偵団通信第1号(平成13年8月)  
軽米らしさ探偵団「埋没していた赤レンガ建築物の再利用でまちおこし」(地域活性化センター「月刊地域づくり」平成15年8月号所収)  
平成27年6月17日放送「わが町パンザイ 軽米町後編」(IBC岩手放送)

ものです。それに対し軽米町のは戦後の約10年間に集中して建てられたという全国でも珍しい貴重な建物群です。今でもライブハウスなどとして使われている酒蔵など現役で活躍している建物もあります。



ライブハウスとしても活躍中の酒蔵 (旧山崎酒蔵)

日本赤煉瓦連盟という団体が出している「日本赤煉瓦番付」にも、全国でも珍しい戦後の建築物であることが評価され「前頭」として掲載されています。ちなみに岩手県では盛岡市にある旧岩手銀行中ノ橋支店が「年寄」として載っています。

## 「ハイキュー」は軽米町が舞台？

「週刊少年ジャンプ」に連載中で、アニメ化もされた超人気マンガ「ハイキュー!!」。物語では宮城県が舞台とされていますが、マンガに登場するシーンから、軽米町が舞台ではないかとの噂が…。



鳥野高校のモデルとされる 県立軽米高校

確かに原作者の古舘春一先生の出身地は軽米町です。いまや「聖地」と呼ばれ全国からファンが押し寄せるほどに。「ハイキュー!! 岩手県軽米町の聖地紹介」なるブログも。

<http://blogs.yahoo.co.jp/yosicosmic>

二戸管内で唯一「戸」の付かない町、軽米町。ほかにも「まだ見ぬ強豪」がたくさん潜んでいそうです。ぜひ一度お越しください。